

バッタの体色が変わるしくみ

第116回 日本農芸化学会 サイエンスカフェ in 松江

日時：2018年9月29日(土) 15:00～16:30

会場：島根県民会館 308会議室

(〒690-0887 島根県松江市殿町158)

挨拶：稲垣 賢二 氏(岡山大学、日本学術会議連携会員)

話題提供者：塩月 孝博 氏 (島根大学生物資源科学部)

内容：トノサマバッタおよびサバクトビバッタの体色は混み合いや周囲背景の色などによって大きく変わります。体色の変化は群集性にも関わることから、原因分子や遺伝子に基づいてしくみを解き明かすことで、バッタの大発生を防ぐ技術への応用をめざしています。その過程では、同種であってもRNA干渉実験が有効な系統と有効でない系統を発見したので、合わせて紹介します。

定員：40名(一般・中高生)

参加費：一般 500円、中高生 300円(茶菓代)

申込み/問合せ先：古田賢次郎(コーディネーター、島根大学)

TEL: 0852-32-6570 E-mail: kfuruta@life.shimane-u.ac.jp

主催：日本農芸化学会

共催：日本学術会議 農芸化学分科会

後援：国立大学法人 島根大学

